

ロジテック製 Windows Storage Server 搭載NASオリジナル管理ソフト

「ロジテックツール」の主な機能

「ロジテックツール」の主な機能

INDEX

▶ 対応機種



LSV-6R4Bシリーズ



LSV-5S4Rシリーズ
LSV-5S4Cシリーズ
LSV-5S1500H/3C
LSV-MSX2Cシリーズ
LSV-MS2Cシリーズ



LSV-6R4Bシリーズ

ディスク暗号化機能については
当社ホームページ
「ロジテックNAS特集」を
ご覧ください。

1 何かあったときはメールでお知らせ

不測の事態をメールでお知らせ【お知らせメール機能その1】

2 メールでらくらく死活管理

定期メール配信で、死活管理も手間をかけずに確実に実行します。【お知らせメール機能その2】

3 エコで経済的な節電を実現

夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電【電源設定機能その1】

4 用途にあわせて電源ボタンをアレンジする

パワーボタンの挙動も設定可能【電源設定その2】

5 ソフトウェアRAID の設定・管理を簡単に

RAID構成が簡単に設定できる【RAIDビルダー】／障害発生時の通知を管理【RAIDエラー】

6 ビープ音で所在をお知らせ、複数台の設置に便利なコール機能

NASの位置をビープ音でお知らせ！【ナスコール機能】

7 各フォルダの空き容量を「ひと目」でまとめてチェック！

空き容量を視覚的にフォルダ単位で確認できます【フォルダアナライザ機能】

8 Windows Storage Serverのユーザ管理機能を一発呼び出し

【ローカルユーザとグループ設定機能】

9 ストレージ管理に欠かせない「バックアップ」を実行

【バックアップ機能】

10 管理用PCからNASの管理画面に簡単アクセス

【HOST EXPLORER(ホストエクスプローラ)機能】

1 何かあったときはメールでお知らせ

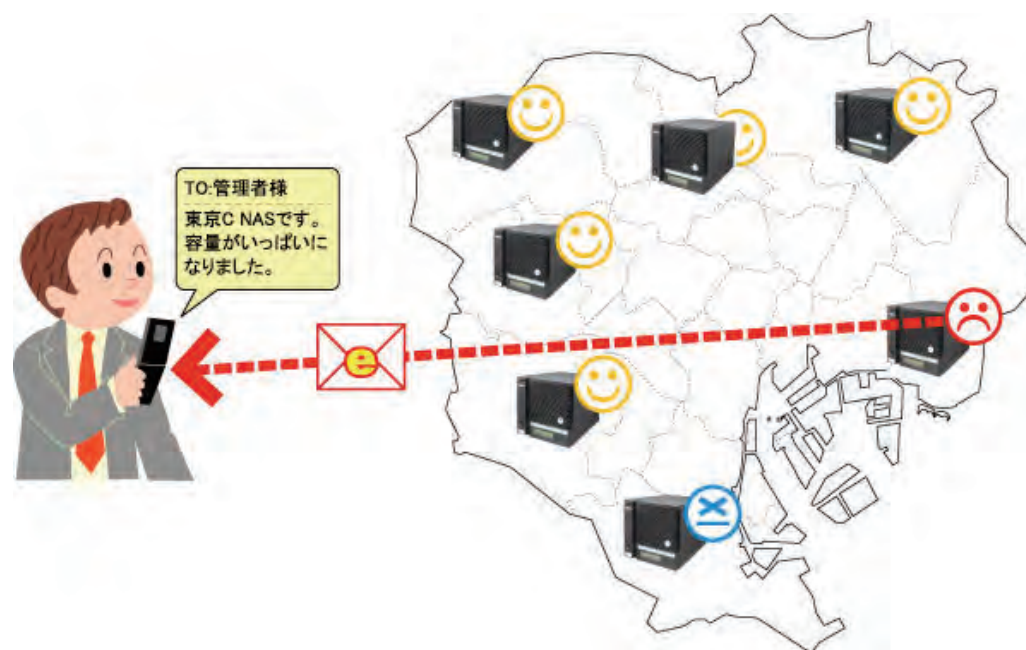
不測の事態をメールでお知らせ【お知らせメール機能その1】

管理者とNASの設置場所が離れている場合、NASに発生したイベントを管理者が把握するのにメール通知は欠かせない機能です。

ロジテックのNASにはイベントが発生した際に、管理者あて(最大5件まで登録可能)にメールを送信する機能が搭載されております。

ただ、拠点数が多くなると配信されるメールが膨大になり情報の整理が難しくなってきます。そこで、お知らせメール機能では、メールヘッダ、タイトル編集を可能にし、管理者様のメールクライアントで、どの場所のNASに問題が発生したのかすぐに特定できるようにしています。

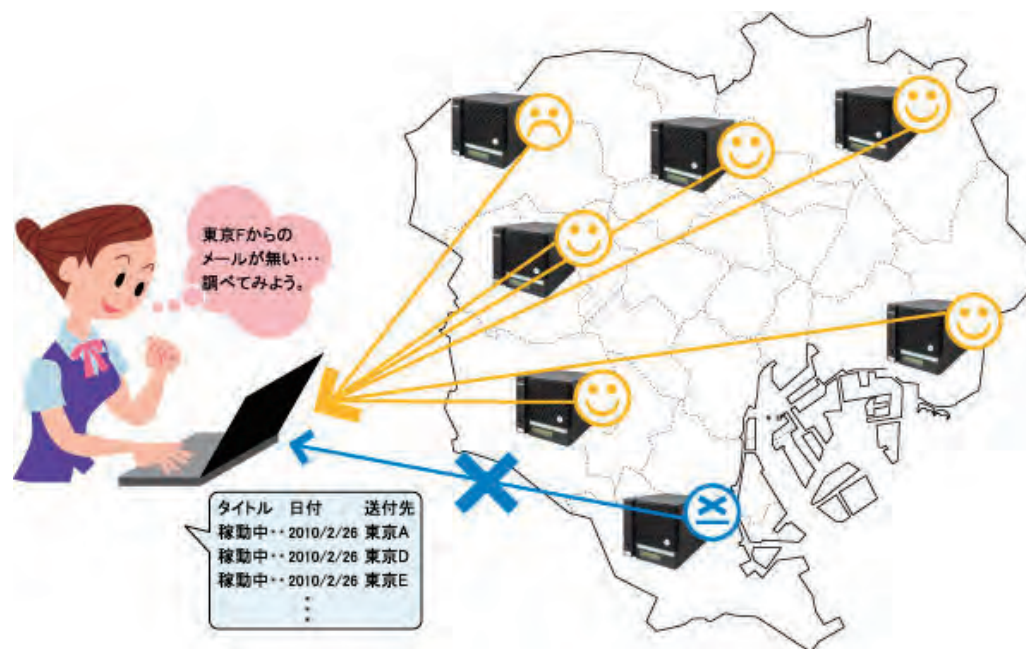
メールシステムを利用することで、環境に左右されることのない情報収集システムが実現できるのです。



2 メールでらくらく死活管理

定期メール配信で、死活管理も手間をかけずに確実に実行します。【お知らせメール機能その2】

情報収集は受動的な管理方法ですが、もう少しアクティブに管理したい場合にお試しいただきたいのが「定期メール配信機能」です。この機能はNASから管理者宛に、定期的なメール配信の設定が可能となっており、メールが届かない場合にNASやネットワーク環境に何らかの異常が発生したことを知ることが可能です。



3 エコで経済的な節電を実現

夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電 【電源設定機能その1】

NASは通常、常時電源オンで稼動するのがほとんどです。ロジテックのNASは低消費電力型CPUを搭載していますが、それでも、データ書き込み時に70W、無負荷時でもやく55Wの電力を消費します。ロジテックツールの電源設定機能では、タイマーでON/OFF(休止)の時間を設定できます。たとえば朝8:00から夜8:00までを稼働時間とし、夜間の電源をOFF(休止)することで年間50kg以上のCO2の削減が可能です。(休止時消費電力:約2W) エコなNASをよりエコに利用することが可能です。

ただし、NASの運用上、Windows Storage Serverは日々のセキュリティ更新のためのWindowsアップデートや、バックアップの為に夜間の稼動を余儀なくされるケースがあります。そこで、ロジテックツールの電源管理機能では、各曜日毎にON/OFF(休止)の時間を設定可能。



▼夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電

- 毎日/各曜日ごとに起動時間と休止時間を設定可能
- WindowsUpdateや夜間バックアップと併用設定可能
- 1日12時間稼動にすることで約50kg/年以上のCO2削減



4 用途にあわせて電源ボタンをアレンジする

パワーボタンの挙動も設定可能 【電源設定その2】

本体正面の電源スイッチ(パワーボタン)の挙動は使用環境により要望される挙動が異なります。

・パワーボタンでの一発シャットダウン

NASが管理者のそばに設置されている場合、管理画面を操作しなくても、手軽にシャットダウンできる機能が要求されます。そこで、パワーボタンから安全にシャットダウンを行うモードを用意しました。

・パワーボタン無反応モード

NASが管理者のそばに設置されていない場合、現場でのご操作を防ぐためにパワーボタンでの操作を無効にする事が要求されます。そこで、不意な操作ミスを防ぐためのパワーボタン無反応モードを用意しました。

※5秒以上長押しした場合は強制電源OFFになります。



5 ソフトウェアRAID の設定・管理を簡単に

RAID構成が簡単に設定できる【RAIDビルダー】／障害発生時の通知を管理【RAIDエラー】

ソフトウェアRAIDのメリットはそのRAID構築の柔軟性にあります。ロジテックのソフトウェアRAID対応NASは、モデルごとに設定可能な RAIDパターンがプリセットされています。設定可能なパターンから選択するだけで、複雑な操作を必要とせずRAIDの変更が可能です。

また、RAIDトラブルが発生の際、スペアドライブに交換した後も【RAIDビルダー】機能から一発でリビルド(RAIDの再構築)を行うことが可能です。

さらに、RAIDに障害が発生したとき等の通知管理は、【RAIDエラー設定】から行う事ができます。本体LCDのエラーを表示やアラームとのリセットが可能です。

※HDD4台構成の場合 (RAID1は2台構成)

RAID 機能比較	RAID 1	RAID 5	RAID 6
	2台に分けられたドライブに同じデータを保存(ミラーリング)	データから1種類のP(パリティ)を生成し、パリティを分散配置	データからなるP(単独パリティ)と演算方法の異なるQ(ガロアパリティ)の2種類のパリティを生成し、パリティを分散配置
構成	(データ) FEDCBA A D E B C F A D E B C F	(データ) FEDCBA A D B E C P D F	(データ) FEDCBA A Q P B C Q P D E Q P F
可用性	HDD1台の故障まで業務継続可能		HDD2台の故障でも業務継続可能
安全性			
データ領域			
お勧め製品はこちら!			
	▶ LSV-MSX2Cシリーズ	▶ LSV-5S4Cシリーズ	▶ LSV-6R4Bシリーズ

機種ごとに使用可能なRAIDパターンについては当社ホームページ「ロジテックNAS特集サイト」にてご確認ください。



6 ビープ音で所在をお知らせ、複数台の設置に便利なコール機能

NASの位置をビープ音でお知らせ！【ナスコール機能】

複数台のNASをまとめて管理する際に、「どのNASがどの部署用だったか？」「どこに設置したか？」などで、対象NASを探すのに苦労をされたことはありませんか？

そんなときは、管理画面ナスコールを実行。対象のNASからビープ音を鳴るため、どこに置いたか？どのNASだったか？を、瞬時に判別することができます。



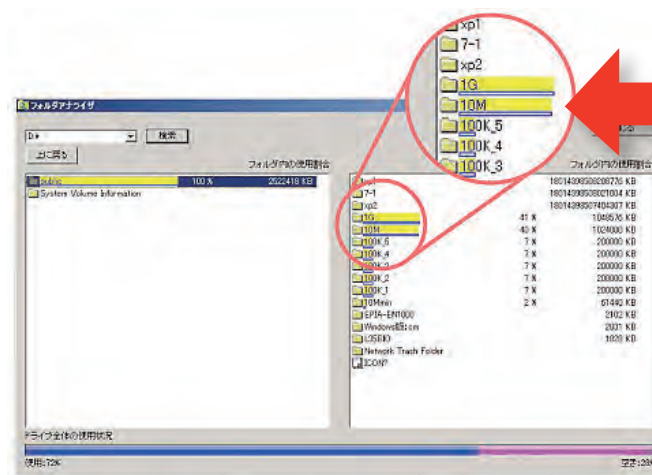
複数台のNASを1カ所に設置した場合、リモートで操作しているNASが物理的にどのユニットなのか判別できます！！



7 各フォルダの空き容量を「ひと目」でまとめてチェック！

空き容量を視覚的にフォルダ単位で確認できます【フォルダアナライザ機能】

NASのディスク容量が少なくなってきた場合、管理者がまず行うのが「データフォルダ内の整理」です。その際にどのフォルダが多く容量を使用しているかの情報が必要になります。ロジテックツールの「フォルダアナライザ」機能は、各フォルダの使用容量をグラフィカルに確認することが可能です。



使用状況が視覚的に判別できます



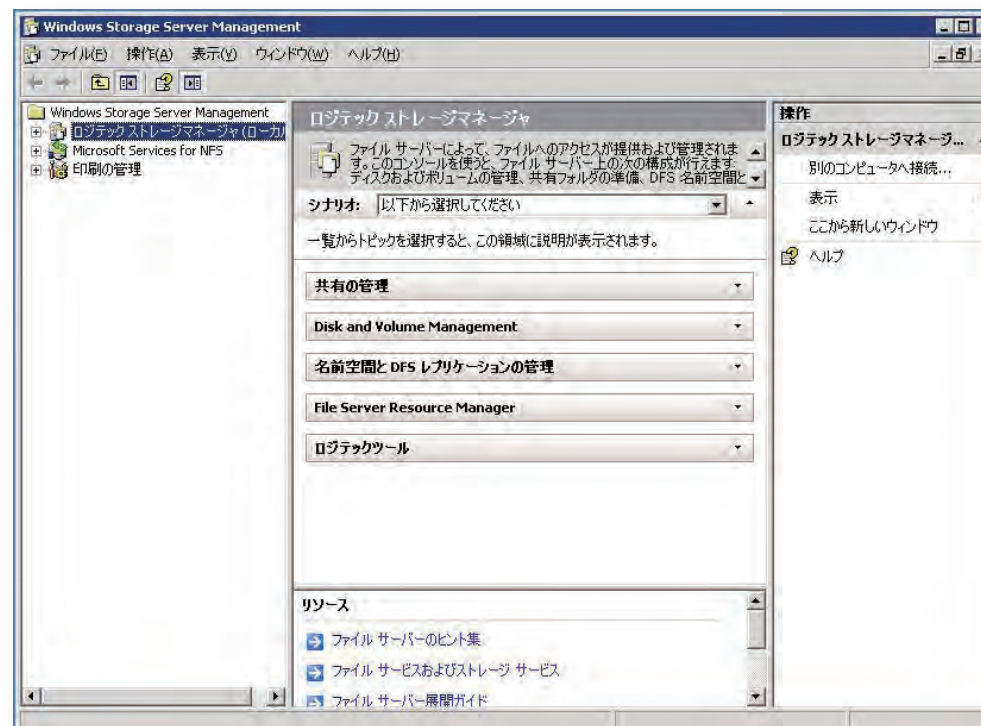
8 Windows Storage Serverのユーザ管理機能を一発呼び出し

【ローカルユーザとグループ設定機能】

Windows Storage Serverの機能【ローカルユーザとグループ】へのリンクです。

ユーザ管理に欠かせないツールへのリンクを配置することで、より効率的なNAS管理を実現します。

わかりやすいインターフェースでWSSの操作をスムーズにアシストします。



9 ストレージ管理に欠かせない「バックアップ」を実行

【バックアップ機能】

Windows Storage Serverには「ntbackup」と云うバックアップツールが標準搭載されています。この「ntbackup」の起動もロジテックツールから行うことが可能です。「ntbackup」にはストレージ管理の際に必要な機能を装備しています。

もちろんバックアップ先にはUSB接続のHDユニットや他のNASを指定することも可能です。

パターン1

メインのNAS



バックアップのNAS



ネットワーク経由で
バックアップ

パターン2

メインのNAS



バックアップの
外付けハードディスクドライブ



USB接続で
バックアップ

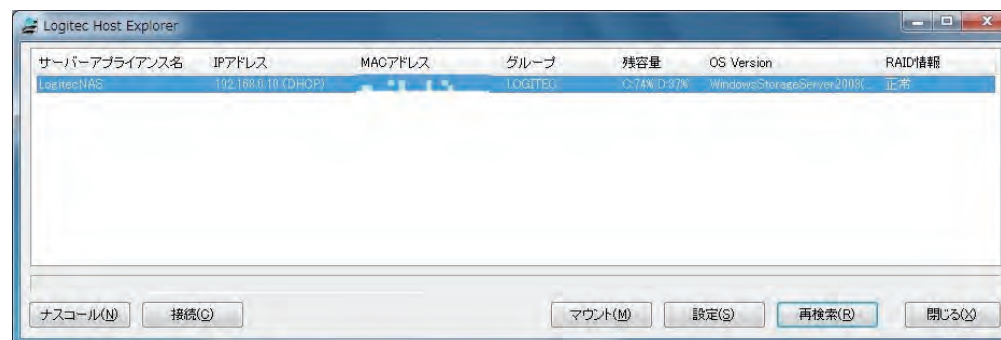


10 管理用PCからNASの管理画面に簡単アクセス

【HOST EXPLORER(ホストエクスプローラ)機能】

NASの設定・セットアップを行う際にネットワーク上のロジテックNASを検出し、管理画面に簡単にアクセスできる機能です。

管理用PCにインストールしたHOST EXPLORERを起動すると同一セグメント内のNASを自動検出し、各NASのステータスを取得することが可能です。



<取得可能なステータス>

ホスト名(サーバーアプライアンス名)、IPアドレス、MACアドレス、Windowsグループ、ディスク残容量、OSバージョン、RAID情報

<機能>

- ・ナスコール: ビープ音でNASが応答します ※NASコールの項を参照ください
- ・接続: 選択したNASの共有フォルダをオープンします
- ・マウント: 選択したNASの共有フォルダをネットワークドライブとしてマウントします
- ・設定: 選択したNASの管理画面にアクセスします

※本機能は管理用PCにインストールするために製品添付CDにて配布されております。

